

<p>⑤民間事業者に対する質問事項</p>	<p>○町として想定している施設・設備としては、温泉宿泊施設や日帰り温浴施設があるが、それ以外に考えられる事業やその事例があれば、ぜひ検討させていただきたい。</p> <p>隣接して新設される複合庁舎は「フィットネスクラブ・クライミングウォール・カフェ・コインランドリー」機能を有するので、それらの機能と連携できる活用法や、防災公園を通じてそれらの機能を町外の観光客に利用いただけるような提案があれば、ご意見いただきたい。</p> <p>○防災公園の建設・運営について、民間のノウハウや資金を生かすべく、PFI事業（BOT方式、BOO方式）を想定しているが、民間事業者の参画の可能性はあるか、より適した手法があるか、市場性や事業スケジュールを考慮した上でご意見をいただきたい。</p>
<p>④対話を希望する業種 ※該当する番号に○（複数可） 注）希望する業種の事業者の参加を確約するものではありません</p>	<p>①.設計 ②.建設 3.不動産</p> <p>4.金融機関 ⑤.維持管理 ⑥.コンサル</p> <p>⑦.運営（温浴施設、宿泊、スポーツ）</p> <p>8.その他（ ）</p>
<p>2. 事業概要 （1）基本情報</p>	
<p>①事業の種類 ※該当する番号に○（複数可）</p>	<p>①.新設 2.建替え 3.改修 ④.維持管理・運営</p> <p>5.その他（ ）</p>
<p>②想定する事業の手法 ※該当する番号に○（複数可）</p>	<p>①.サービス購入型 2.収益型 ③.混合型</p> <p>④.公的不動産の利活用 5.包括的民間委託</p> <p>6.指定管理者制度 7.コンセッション</p> <p>8.その他（ ）</p>
<p>③事業内容 ※事業の内容を簡潔にご記入下さい</p>	<p>○温泉が豊富な土地を生かし、新設する複合庁舎の暖房に温泉熱を活用するべく検討をしている。既に町内5本の温泉井戸を保有しており、今年度においても冬期間の農業者雇用を目的とした園芸ハウス用の熱源として利用する温泉を掘削したところ、地下900mから毎分500Lの湧出量（60℃）があり、これを参考とした場合、整備する庁舎内の熱利用を行っても残湯が発生する見込みであり、複合庁舎で利用後の残湯は約500L・</p>

	<p>25℃程度を想定している。なお、日々の暖房需要によって熱利用しない温泉が出るが見込まれ、夏季など暖房を使用しない期間は熱利用を行わない予定のため、湧出する温泉は全くの未活用となる。</p> <p>この熱利用後の残湯や熱利用されない期間の温泉を活用し、観光や住民福祉に資する施設を整備する予定である。</p> <p>○新設する複合庁舎及び防災公園は災害時の防災拠点として、常に利用している施設を非常時にもそのまま役立てることができる「フェーズフリー」を基本理念として整備する予定である。</p> <p>○本事業の対象敷地（防災公園）に隣接する新設する複合庁舎には公民館・保健センター機能のほか、にぎわいのある空間としてフィットネスクラブ・クライミングウォール・カフェ・コインランドリーが民間事業者の運営により併設される予定である。</p> <p>※上記運営に係る協力企業</p> <p>フィットネスクラブ・・・(株)ルネサンス クライミングウォール・・・(株)mont-bell カフェ・コインランドリー (株)OKULAB</p>
<p>④現状及び課題</p>	<p>○既存の公共施設の現状については、資料1「小清水町防災拠点型複合庁舎建設計画」を参照。</p> <p>○町の概況</p> <p>本町は昭和35年の11,517人をピークに、令和2年9月末には4,687人と減少傾向が続いている。基幹産業は畑作農業であり、商・工業は必ずしも強いとはいえず、人口減少に伴い商業の顧客力自体も弱まっているが、道の駅などが設置されている浜小清水地区にmont-bellショップを併設したツーリストセンターを設置後、観光客70万人/年のほか町内町外からの来訪者で賑わいがある。</p> <p>○周辺地域の現状・課題</p> <p>前述したとおり本町への来訪者は浜小清水地区への立ち寄りに終始しており、現状では町内への波及効果はないことから、過疎化による中心市街地の活性化だけではなく、新たな賑わいの空間を設けた防災拠点型複合庁舎を中心に、中心市街地への新たな滞留や交流人口の増が生まれる取り組みを積極的に取り入れたいと考えている。</p>
<p>⑤前提条件</p> <p>※事業化にあたって事業者 考慮してほしい事項等を簡潔にご記入ください</p>	<p>○利用後の温泉水については、道路側溝を介しポン止別川へ放流される。浴用に利用する場合は、下水処理を考慮する必要がある。</p>
<p>⑥事業スケジュール（予定）</p>	<p>詳細は資料2「スケジュール・位置図・設計コンセプト」を参照</p> <p>○本事業（防災公園整備事業）</p>

	<p>令和3年12月 基本構想 (令和6年度 供用予定)</p> <p>○参考：複合庁舎建設事業 令和2年12月 基本設計 令和3年9月 実施設計 令和4年2月～翌年2月 建設工事 令和5年5月 供用開始</p>
--	--

(2) 対象地

① 所在地(交通情報含む)	北海道斜里郡小清水町元町2丁目628番地の1ほか2筆 (網走バス「小清水4区」から徒歩1分)
②敷地面積	3筆合計 10,688.41 m ²
③土地利用上の制約	防災公園として活用する必要があり、本用地は以下の区域となる。 都市計画区域外・建築基準法22条区域内・景観計画区域内
④所有者	小清水町
⑤周辺施設等	<p>「歩いてまわれるまちづくりの結節点」として、新設する複合庁舎・一般駐車場(52台)・親水広場・遊歩道を隣接地に整備する予定である。</p> <p>200m以内に小清水赤十字病院・商店街、1km以内に小清水温泉ふれあいセンター・コンビニなどが立地する。 町を南北に貫く国道391号、東西に北見市と斜里・知床方面に向かう国道334号があるほか、国道391号は15km先に網走市、斜里・知床方面に向かう国道224号線と接続する。</p>
⑥対象地周辺の環境	<p>新設する複合庁舎周辺はコミュニティゾーンとして、医療・福祉・文教・商業の機能を備えている。</p> <p>町の観光ゾーンであるオホーツク海沿岸の浜小清水駅周辺からは10km離れているが、南西に斜里岳を望むことができる。</p>
⑦その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)	中心市街地から30km先には、屈斜路湖やオホーツク海が一望できる藻琴山(標高1,000m)があり、子供から高齢者まで手軽に登山ができる。

(3) 対象施設

(3)-1. 建物	既存	整備後(予定)
①施設名称		未定

②施設の延床面積		未定
③建物の構成（構造、階数）		未定
④主な施設の内容、導入機能		
⑤運営状況 （運営主体、事業手法等）		
⑥その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）		
(3) -2. インフラ系 （上下水道、道路等）	既存	整備後（予定）
① 施設名称	上水道：小清水町簡易水道 下水道：小清水町農業集落排水 接道：中学学園通り（町道）	
② 規模、能力 等	接道中学学園通り幅員 13.0m	
③運営状況 （運営主体、事業手法等）	上下水道、道路共に小清水町	
④その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）		

■参加予定形式

本取組は、現地会場及びWeb会議（Zoom 予定）を併用した開催を予定しています。

相談自治体の参加予定形式	① 現地会場で参加する ② Web 会議で参加する
--------------	------------------------------

※今後の状況の変化に応じて、相談自治体の参加予定形式については変更となる場合があります。

■ 添付資料

※資料は今後の検討に応じて変更となる恐れがございます。

- ① 小清水町防災拠点型複合庁舎建設計画
- ② スケジュール・位置図・設計コンセプト
- ③ 外構レイアウト
- ④ 庁舎基本設計案
- ⑤ 「小清水町新庁舎にぎわいのある空間の方向性」

- ⑥ 「フェーズフリーに基づく災害時系列機能の整理」
- ⑦ 人口・観光情報
- ⑧ 周辺温泉施設の情報